

# 第46回 全労済 東京

## テーマ

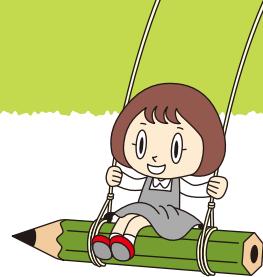
作文：どきどき・わくわくしたこと

版画：自由課題

# 小学生作品 コンクール

入賞  
作品集





# はじめに

小学生作品コンクールは、1973年度の第1回開催以来、今年度で46回目（46年度目）を迎えることができました。今回は、作文153点、版画1,450点、合計1,603点の素晴らしい作品をお寄せいただきました。当コンクールに向けて、一生懸命作文を書き版画を作り、応募くださった皆さん、本当にありがとうございました。

今回の作文のテーマは「どきどき・わくわくしたこと」でした。皆さん普段の学校生活や各ご家庭の中で感じた驚きや感動が、ひとつひとつ言葉として彩り鮮やかに表現されており、まるで皆さんと一緒にどきどき・わくわくを体験しているかのような気持ちになる、いきいきとした作品の数々をお寄せいただきました。

版画は今年度も「自由課題」でした。今年の干支のいのししをはじめ、愛らしい犬や猫などの動物、風景画から空想上の生き物、抽象画や自画像など、多種多彩なテーマと自由自在な発想がそれぞれの作品に詰め込まれていました。また、紙版画や木版画、単色の作品や多色の作品など、素材や色を上手に使い、さまざまな技法で制作いただきました。

本来は皆さんからご応募いただいた作文・版画の作品のすべてをご紹介したいところですが、紙面の都合上、作文・版画の金賞・銀賞に輝いた31点のみとさせていただいております。ご容赦ください。

最後になりますが、審査いただいた先生方をはじめ、ご後援いただいた東京都教育委員会、応募にあたりご指導およびとりまとめをいただいた先生方、そのほかご協力いただいた皆さんに心より御礼申し上げます。

全労済東京推進本部



挨拶する高須本部長

## 喜びと笑顔に満ちた表彰式



二月二十四日（日）十時三十分より、全労済東京推進本部・三階会議室において、第四十六回全労済東京小学生作品コンクールの表彰式が開催されました。表彰式には、作文・版画の金賞・銀賞入賞者三十一名と、そのご家族やご指導された先生方、総勢一〇四名の方々にご出席いただきました。

表彰式は、全労済東京推進本部の高須則幸本部長の挨拶で始まり、その後、入賞者一人一人に表彰状が手渡されました。受賞者の皆さんには緊張しながらも、堂々と表彰状を受け取られていきました。

続いて、作文の部入賞者を代表して、東京都のコンクールで金賞を受賞され、中央コンクール（関東を中心とした一都九県）で最優秀賞を受賞された成蹊小学校四年生の小林珠梨さんによる代表朗読が行われました。小林さんは、感情を込めて元気良く丁寧に作文を読み上げ、会場は大きな拍手に包まれました。

最後に、作文の審査を担当された宮寄光次郎先生と版画の審査を担当された斎藤貴子先生にそれぞれの講評をいただき、作文や版画などの創作活動を通して発見することや工夫してみることの大切さ、自分自身の思いや考えを持つて表現することの楽しさや素晴らしさについてお話をいただきました。

閉会後、作文・版画の部門ごとに記念撮影を行いました。

全労済公式キャラクター「ピットくん」も登場し、緊張もほぐれたのか喜びいっぱいの笑顔があふれた撮影となりました。

なお、東京・四谷三丁目の「C C A A エートプラザ ランプ坂ギャラリー」にて、二月十三日から二月二十日まで金賞・銀賞・銅賞の作品の展示会を開催し、多くの方々に受賞作品をご覧いただきました。



少し緊張気味の受賞者の皆さん。



審査員の先生方に講評をして  
いただきました。



## 表彰式の様子



受賞者の皆さん



表彰式の会場に受賞作品を展示しました。



作文の部を代表して受賞作品を朗読しました。

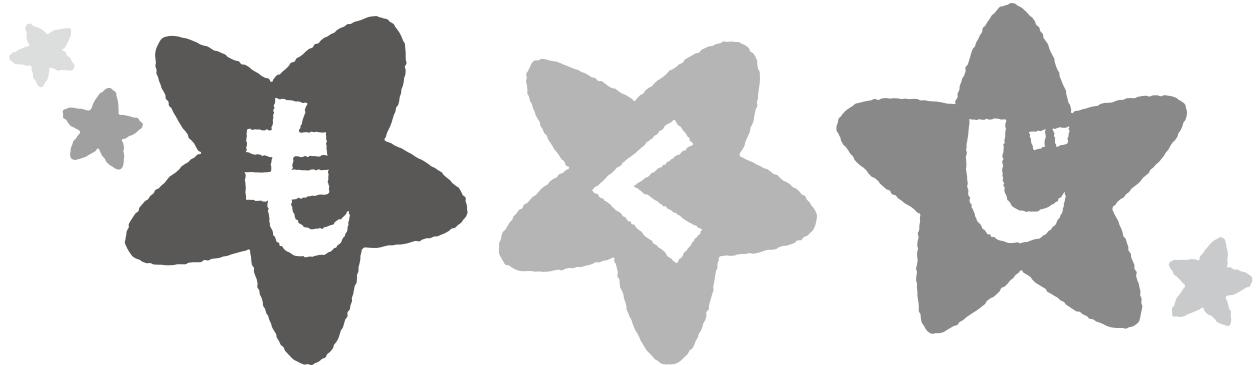


作文の部 受賞者の皆さん



版画の部 受賞者の皆さん





## 作文の部

コンクール入賞者

- 金賞作品 ..... 10
- 銀賞作品 ..... 26
- 作文の審査を終えて ..... 47

## 版画の部

コンクール入賞者

- 金賞作品 ..... 50
- 銀賞作品 ..... 56
- 版画の審査を終えて ..... 62

- 応募いただいた学校と作品数 ..... 63
- 応募作品数・学校数 ..... 64

# 金賞



やうじょうまれる

一いつのドキドキ

すてきな日本の文化にふれて

わたし色

一振りに込めた願い

ドキドキ・ワクワクパーティ選手権

光塩女子学院初等科（6年）

瑠花さん

たのしかつたな なつやすみ

わくわく・ドキドキおあい手活

わくわく・ドキドキおあい手活

新宿区立市谷小学校（1年）  
東京学芸大学附属世田谷小学校（2年）  
明星小学校（3年）

瑛和さん

将棋イベントの日

ドキドキするガブームシとの毎日

江戸風鈴のわくわく体験

達成感を感じる

空からの贈り物

わくわくする事

光塩女子学院初等科（4年）  
練馬区立泉新小学校（5年）  
光塩女子学院初等科（6年）  
田黒星美学園小学校（6年）

百合さん



# 銅賞



1人でのるひのり

一いだつたうんどうかい

とくべつなアイスショード

たからくじに当たつたら

大田区立山王小学校（1年）  
帝京大学小学校（1年）  
東久留米市立第一小学校（1年）  
田黒星美学園小学校（1年）

川崎 安井 田中 夏音さん

洋平さん 咲季さん 彩華さん

足立区立千寿常東小学校（1年）

足立区立千寿小学校（2年）

中央区立明石小学校（3年）

成蹊小学校（4年）

台東区立谷中小学校（5年）

光塩女子学院初等科（6年）

珠梨さん

大根 建人さん

志輝さん

山口 小林

山尾 中山

井上 鈴木

小林

伊藤 菊地

鮫島

宮田 由作さん

愛莉さん

高橋 麻里菜さん

侑季さん

高橋 梢季さん

百合さん

高橋 こころさん

百合さん

高橋 ひづるさん

百合さん

百佳さん

大根 建人さん

山尾 中山

小林

志輝さん

珠梨さん

瑠花さん

瑛和さん

志輝さん

瑠花さん

瑛和さん

志輝さん

瑠花さん

瑛和さん

志輝さん

瑠花さん

瑠花さん

瑠花さん

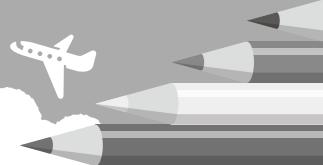
瑠花さん

瑠花さん

瑠花さん

瑠花さん

瑠花さん



## コンクール入賞者

音楽室の大きなピアノ	足立区立東渕江小学校（2年）	桶口 文音さん
じきじきわくわくしたこと	光塩女子学院初等科（2年）	岡 海英さん
はがぬけた	光塩女子学院初等科（2年）	鈴木 芭奈さん
ドキドキワクワクしたリレー	足立区立千寿小学校（3年）	中村 翠さん
ぼくのバイオリン	新宿区立市谷小学校（3年）	佐当 泰地さん
この夏一番の思い出	光塩女子学院初等科（3年）	関 日衣菜さん
待つててね。一年生	田黒星美学園小学校（3年）	山田 千凜花さん
私がじきじきしたこと	田黒星美学園小学校（3年）	御園生 なぎささん
じきじきわくわくする事	桐朋小学校（4年）	草薙 深央さん
ぼくは面白いめし使い	東京都立大塚ろうつ学校 城東分教室小学部（4年）	天野 かなと
十五人の仲間とともに	田黒星美学園小学校（4年）	佐々木 惠大さん
ドキドキワクワクホームステイ	桐朋小学校（4年）	奏音さん
小さな1人旅	光塩女子学院初等科（5年）	高橋 いとさん
じきじきわくわくの力	光塩女子学院初等科（5年）	竹村 舜奈さん
初めての宿泊学習	墨田区立業平小学校（5年）	佐々木 侑奈さん
ソーラン節が教えてくれた事	練馬区立泉新小学校（5年）	垂水 まいか
うれしかった初めてのソロ	東久留米市立第一小学校（5年）	細田 舞佳さん
地球の生き物	光塩女子学院初等科（6年）	竹村 愛奈さん
友情を深めることができた騎馬戦	帝京大学小学校（6年）	日ヶ久保 りささん
憧れの雪	成瀬 ハサヴィーさん	松野 ひまり
	琥太朗さん	陽葵さん



# そうしうまれる

足立区立千寿常東小学校（1年）

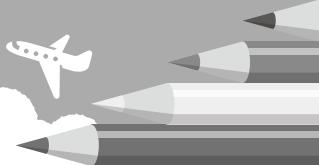
鈴木 すずき  
百佳 ももか

そうしうまれる  
一ねん すずき ももか  
「ぱぱ。ようちえんやすんでそうしのびよう  
いんにいくよ。」  
そうしうまれたあぐ、ドキドキワクワク  
してわたしは、いりました。  
「こんなにうれしいきもちだ。たんた。わす  
れてた。」  
いもうとがうれたときのことを、おもいで  
れました。

すえつこのそうしは、ちいちゃくて、ふに  
ぶにして、わざとへんなかおきしたりして、  
おもしろくて、かわいいです。  
わたしは、そうしのことをじゅぎよろち  
うにおもいだしたりしました。そうしたら、  
にこにこしゃいます。



# 作文の部



わたしのだいじなものとやかって、わざと  
かくししたりします。すぐにつかるばしょに  
おいてあります。そらは「いたずらをして  
かぞくをわらわせてくれます。  
そらしがうまれてわたしは、ちいさいつの  
きもちがわかるようになりました。そして、  
ものをやぐることができるようになりました。  
いもうとがうまれたあと、にかいぬだからで  
す。  
そらしがうまれてかぞくは、いそがしくな  
りました。でも、かぞくのやさしいえがおの  
きもちもうまれました。  
わたしといもうとは、ぱぱとままのおてつ  
だりが、すすんでできるようになりました。  
いもうともわたしにまけずに、ちいさいこ  
のきもちややぐるきもち、やさしいきもちが  
たくさんうまれました。  
そらし、うまれてきてくれてありがと。

## 選評

弟が生まれたことにどきど  
き・わくわくしていることが書か  
き出しからも伝わります。途と  
中一弟が生まれて家族は忙しく  
なつた」と大変さにふれる中で、  
家族に起こったプラスの変化に  
気付いたところが鈴木さんの素  
敵な気付きだと感じます。弟を  
大切に思う気持ちや妹や家族と  
の関係など素直に気持ちが読み  
手を温かな気持ちにさせてくれ  
ます。



# 二つのドキドキ

二つのドキドキ 大つき たけ人

ぼくは、七月のあたりの土曜日、ママと一緒に、ママのじい家へ行きました。はじめてハッピをきて、おまつりに出たのです。ママのじい家は、ぼくがすんているところでせんせんちがいます。田んぼや、はたけばかりで、山がちかくて、虫がたくさんいて、かえるのさえはすぐくうるさいのに、道をあるしている人はいません。ママの妹のまゆちゃんなさんのヨツヅーちゃん、四才の男の子のよ、ちゃんも、おまつりのために、とまりに来ていて、おまつりがはじまる日よのづづか楽しみでした。日よのあさ、ぼくがねていると、へやの外から、ヨツヅーちゃんが、

「タツケ、フリーに行こう。」

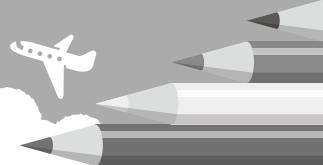
とよひました。ぼくは、ヨツヅーちゃんと、夏休みにフリーに行こうとやくえくしていったことを思い出しました。ママはねていて、気が

ついていません。ぼくはバツクの中から、テヘンシヤツと半ズボンをさがして、ママをおさないよろこびで、と、はつてへやをぬけ出した。フリーに行けることかられしくて、ハイテンションで「えが出えうだたけど、「えを出したら、みんなにばれちう」と、思って、気もちをあげてしづかに、いつものはいのスピードで、かえました。さはへじたべすに、かおもあらわす、はもみががないで外に出てるなんて、今まで一どもやつたことかなくてきたないな」と思つたけど、車にのつて出でつしてみたら、へい気になりました。川は、すすしかつたです。どうきようでは、まい日があつくて、あさおきたらぬせをながすため、シャワーに入つて、ワーラーをかけないところは、かたべられたいのに、まるでべつの国みたいで、ぼくのしんちようよりもたがい草ザワサワと生えていました。ヨツヅーちゃんはフリーおとクーラーボックスをもってきてくれました。イソメとい

足立区立千寿小学校（2年）

おおつき  
大槻 建人さん

# 作文の部



う気もちやろい虫の、魚をだますにせもの  
エサが入つていました。でも、ベフのおりえ  
さをつかうことになつて、ぼくはちょつとほ  
としました。おりえさはゆびでちよつとほ  
まんで、丸めてこねて、つりばりの先ほが  
かくれるよろにのせました。左手でさおをも  
て、右手ではりのついた糸をショウと川の  
中へなげました。うまくなげられなくて、地  
めんにあちてしまつたのを、ヨツツーちゃん  
はぼくの右手をもつて、い、しょになげてく

れました。ぼくはうきをじつと見つづけてい  
ました。りょう手でさおをもつていると、じ  
くじくと、魚のうきがつたわってきました。  
えのしゅく間へ来たし。)と思つて、さお  
をもち上げようつました。そしたら、  
「まだまだ、うきがくいって、しすもまで  
まつて。」とヨツツーちゃんが教えてくれまし  
た。そして今は、  
「まだまだ、うきがくいって、しすもまで  
まつて。」とヨツツーちゃんが教えてくれまし  
た。今だ。と大きいえで言いました。

ぼくは、(行くせー)といつ氣もちで、おち  
上りました。さあ先には、小さいけど  
魚がいたのです。少しすつじぶんの方に糸を  
つづけて、魚にさおりました。ツルツルして  
いて、つめたからです。ぼくがはじめて  
つた魚は、ぼくの手のひらよりも小さい  
れど、でん池がへて、いるみたいにビック  
ンビックンと元気いきうづいていました。ぼくは  
タケシングをつかんで、七ひきもつることで  
きました。するとヨツツーちゃんのけいだい  
がなり、よ、ちゅくがおきて、なきながら、  
いとぼくをつかして、いると言あねました。ぼ  
くたちは、あわてて帰りました。ママはまだ  
ねています。ぼくはわざと大きなこえで、  
「つりに行つて、きたんだよ。七ひきつれた  
んだよ。」

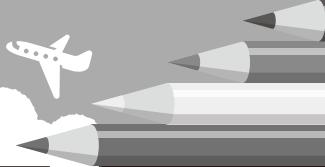
「つりに行つて、きたんだよ。七ひきつれた  
とつたえました。ママはおどろいて、かく、「一  
人でおきて、かえをえらんで出づけたことを  
ほめてくれました。はみがきのこくはおこく  
ねましんでした。ぼくは、一日の間に、ない

しょで、二つそり出かけたドキドキと、魚を  
つり上げるドキドキの二つをかんじました。  
大ぼうけんに出かけた、大せいこうして帰つ  
て来たヒーローのよろな気もちになりました。  
おまつりも楽しかったけれど、この二つのこ  
とを思い出すと、今でもむねかドキドキしま  
す。

選評

多くの自然に囲まれたいつも  
と違う家で、家族とお泊りをす  
る楽しい一日。その家から、み  
んなにはれない様に抜け出して  
釣りに行くといふ「大冒険」の  
ドキドキがまっすぐに伝わって  
くる、臨場感あふれる文書です。  
また、その冒険を経て大きく成  
長した様子がわかります。これ  
からも様々な感動を大切にして  
成長していってほしいです。

# 作文の部



金賞

## すてきな日本の文化にふれて

中央区立明石小学校（3年）

山尾 詞葉さん

すてきな日本の文化にふれて  
中央区立明石小学校三年 山尾 詞葉

「今から心を落ち着かせてください。」

これは、初めての書写のじ。ぎ。つで先生が  
言、た言葉です。わたしは毛筆を一じもや  
たことがありませんでした。

「いよいよ始まるぞ・・・」

わたしは、むねのこ動が高鳴りました。そし  
て、ピンとせすじをのばしました。

【】

初めて使つたぼく液は、クレヨンやえん筆  
の色とはちがう黒さで、砂をませたような不  
思議な香りがしました。その香りをかぐと、  
なぜかむねがサワサワしました。大筆は、さ  
い初ほ先がとがつてカチカチしてしました。  
それを一生けんめいほぐしたら、や、ンフワ  
フワになりました。わたしは、  
「力加げんがむずかしいな」  
と思いました。

「筆をぼく液につけてみてください。」

先生が言つたとたん、みんなはすぐさきとり

がかりました。わたしもワクワクしながらし  
ん重に、筆をぼく液にひたしました。そして、  
半紙に書いてみると、と中からパサパサにな  
てしまつたりギザギザギザになつてしまつた  
りして、むずかしかったです。

「トンツスートンツのリズムで書くとよいで  
すよ。」

と、先生がポイントを教えてくれました。た  
めしてみると、少しむずかしかったけれど、  
いい字が書けました。

【】

「まほうみだい」。

わたしは先生からまほうのじ、もんを教わ  
たようでうれしくなりました。

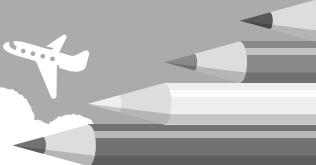
周りを見わたしてみると、いつもお調子者  
の反対も真けんにとりくんでいて、教室中  
がシンシンとなり返つていました。わたしは  
そのふんいきじドキドキしました。そして、  
このしづかな空間が心地よいなと思いました。  
日本には、書道のほかにも茶道や華道とい  
う文化があります。どの道も、静と動のメリ

ハリがつて魅力つきだと思ひます。わたし  
は、落ち着いた空間がすきなので、色々チャ  
レンジしてみたいです。

## 選評

胸の鼓動。墨の独特な香り。  
静まりかえった教室。初めての  
書写の授業のどきどき感を全身  
で感じ取った山尾さん。教わっ  
た「トンツ、スートンツ」のリ  
ズムを『魔法の呪文』と見事  
な比喩で表す感性が素敵です。  
2020年の東京オリンピック  
に向けても、日本の文化の素晴  
らしさを体験することと知ること  
は大切ですね。是非これからも  
チャレンジを続けてください。

# 作文の部



## わたし色

わたし色

4年 小林 珠梨

「大人って、不思議だな。」

大人になると、ワクワクする事が少なくなるとテレビの中の誰かが言っていた。私にはそれが、どうしても理解できないのだ。

なぜなら、私の人生は、ワクワクとドキドキの連続だから。

「起きて！」

朝、お母さんのこの声で私の1日は始まる。

成蹊小学校

成蹊小学校

なぜだか自分でも分からないが、いつも私は遅いのだ。

本当はピョンピョン元気に跳ぶウサギや、広い草原をワンワン自由に走り回る犬の様になりたいと思つて、いるのに、なかなか現実はそうもいかない。

学校では今、皆が大縄に夢中になつて、いる。

「ああ、また大縄か……。」

と、朝のワクワクタイムが、どんよりタイムになつてしまつていた。

成蹊小学校

成蹊小学校

成蹊小学校（4年）

小林 珠梨さん

眠い目をこすりながらの朝食時間。ドキドキワクワクする1日のスタートだ。

「今日は何をしようかな。」

何か新しい発見はあるかな。

そう考ふるだけで自然とニヤニヤしてしまつ。

しかし、1年間365日、毎日楽しい！というわけにはいかない。

「のろまなカメ」

自分を動物に例えるなら、これが一番しつくりくる。

お母さんに

「大縄嫌だな。みんな他の遊びをすれば良いのにな。」

と小さな声でつぶやくと、

「何で？」

と聞いてきた。

「私がメだからさ、上手く跳べないんだよ。」

と答えると、

「カメって可愛いじゃない。」

と、あ、けらかんと私に笑顔で答えた。

「本当に急いで欲しい時は、早くして！」  
言ってしまうけれど、何でも早ければ良い、  
ていうわけではないのよ。あせらないでか  
んばれば、カメだと跳べるようになるし、  
楽しいと思うよ。お母さんが、早くしなさ  
い、て言いすぎなのかもね。ごめんね。今  
度からは気を付けるね。ゆくりで良いよ、  
可愛いカメちゃん。」

どんよりタイムがワクワクタイムになった。

カメもなかなか良いものだなと思つたら、

こんな時ふと隣を見ると、どんよりタイム

の友達がいた。ああ、少し前の私と同じ気持ち

の友達がいた。その友達にこの素敵な

気持ちをプレゼントしてあげたくなつた。次

く。  
「やあ、縄の外に出るのもがんばるぞ。」  
タイミングを見極めながら、大急ぎで出た。  
出た後もしばらくドキドキが止まらなかつた。  
とても心地良いドキドキだ、た。  
そんな時ふと隣を見ると、どんよりタイム  
の友達がいた。ああ、少し前の私と同じ気持ち  
の友達がいた。その友達にこの素敵な  
気持ちをプレゼントしてあげたくなつた。次

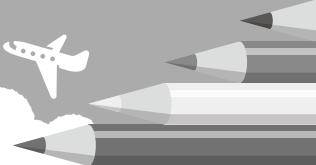
の休み時間、すぐいても大縄のグルーブに入  
りたい気持ちをグッとおさえ、友達の所へむ  
かつた。自分も最初は怖か、た事、跳べた時  
の気持ちが踊り出す感じ、縄から出た時の達  
成感。全てを伝えた。いつの間にか、友達は  
私と一緒に大縄グルーブに入つてついた。そし  
て、跳べる様になつた。その時の二人の笑顔  
は、一人の時に感じた素敵な気持ちよりも、  
も、とも、と大きなものだつた。

私の毎日は、私次第。私が進みたいと思え

その日は、早く学校へ行つて大縄に挑戦して  
みたが、た。急いで教室へ行くと、大縄をや  
っている友達の輪に入つた。  
ドキドキした。同時にワクワクもした。ま  
た縄にひつかかてしまつたら、友達はどん  
な顔をするかな？残念がるかな？いろいろな  
気持ちが頭の中をグルグルこわれた時計の様  
に回つてついたが、勇気を出して一步前へ出て  
みた。気がついたら、縄の中を跳んでいた。  
「や、たゞ跳べた！」



# 作文の部



進むための準備だと思ふから。  
長く長くのびる“わたし色”的未来を想像するだけで、ワクワクドキドキが聞こえてくるようだ。

ばどこへだつて行ける。そこにはきっと、楽しい事や美しい物が待つてゐる。もちろん、嫌な事や残念な事もあるかもしれない。しかし、それを怖がつていたら、前へは進めない。一勇気を出して、行こう。」

と決めた時、目の前には沢山の道が広がつてゐる。

疲れた時は、休めば良い。もしかしたら、後ろを向いてしまう日もあるかもしれない。

それでも良いと思う。それは、また1歩前へ

世の中には沢山の驚きや感動があります。しかし、嫌なことがあります。や辛いこともあります。その中で、「勇気を出して」前に進むことの大切さを教えてくれる

作品です。また、小林さんの気持ちは、家族の言葉や自身の勇気によつて変わつていき、それが友達に伝わつていく話の構成も素晴らしいです。是非、これからも自分らしさを大事にしてください。

# 選評



# 一振りに込めた願い

台東区立谷中小学校（5年）

中山 志輝さん

一振りに込めた願い

中山 志輝

「絶対勝つぞ」

「オーバー」

キヤブランを因んでみんなで言った。

今日は決勝戦。今までで一回も立ったことがない山の頂点にたどりついたい。打ちたい。し、かり守りたい。ピッチャーや支えたいた。

色々な思いで挑んだ。今日、この日、この時にたどりつくまで様々な練習をした。冬にはトレーニング、走る、何度も怠られる、つらっことかいはいあた。だりど、つらっことをし、自分のためにな、たから力がつき、この時を向かえられたのだ。

試合が始まるとびきびきした。いや、びきじきを越えればくした。私の守備位置はうい人。一球一球ピッチャーに声かけをし盛りあげる。すると打球が飛んできた。心臓がぱくんばくんと叫んだ。走ってスライディングをしてとった。ばくんばくんとしていた心臓

は少し落ちついた。スリーアウトになつて走

つてベンチに戻った。チームメイトが、

「ナイスプレー、おつかれね。」

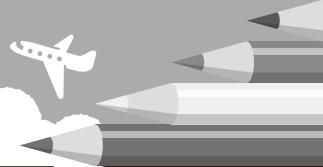
と声をかけてくれて嬉しかった。

攻撃になり打順がまわってきた。声援はいつも以上に大きく、守備の時以上にびきびきして体がふるえた。ふるえたせいか、しつかりバットを振れずサードゴロになってしまった。この回は一点も取れず、くやしいまま守備位置に走った。しかし、チャンスはまだあります。

ると思うとびきびきがわくわくに変わった。そのわくわくした気持ちで守備に入ると自然に樂しくなり、大きな戸でピッチャーをはづますことができた。

最終回、二点差で負けていたが、みんなでつなげて一点差までつめた。一死、ランナー二、三塁、バッターは私。ここで一打でればさよなら勝ちのチャンスだ。すると監督とくが、スクイズのサインだすからな」と言つた。正直元、と思つた。でもやるしか

# 作文の部



なーと思つた。バッターホッカスに入ると、やはリスクイズのサインがでた。ピッチャーバントの構えになつた。絶対当てるぞと私は投げた。ランナーはスタートを切つている。強く心に思つた。ところが、相手のバッタリがわざと球を外してキモ。バットを遠くに投げだすように、思い切り手を伸ばした。当たらぬ。ランナーはスタートを切つていた。キャッチャーはランナーを追いつめる。タッチ。ランナーはアウトになつてしまつた。これで二死。しつかり当てないといけなかつたのに。くやしい気持ちが心に残る。最後も思い切りバットを振つたけれども三振をしてしまつた。

ケーブセツト

しんばんが叫ぶ。負けた。四対五で負けた。

くやしい。くやしい。くやしい。山の頂点まであと一歩だつたのに。

閉会式まで時間があつた。試合のことと思つかりい出す。できなかつたことは練習でしつかり

六	七	八	九	計
1	2	0	0	5
1	0	0	1	4

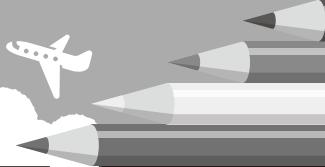


やればいいと自分に言い聞かせ気持ちを切り  
変えることができた。バッターボックス、試  
合中、たくさんじでさきんちようしたけれ  
ども、初めての決勝戦はとても充実した試合  
だった。つらい練習と一緒に頑張ってさたす  
しムメイトと野球ができるのもあと一年。こ  
の大会で頂点に立てなかつたくやしさを忘れ  
ず、練習を積み重ね次の大会では頂点に立つ  
ぞと心に決めた。

## 選評

書き出しの気合いの言葉、短い文で綴られる中山さんの思い  
や練習の振り返りが決勝戦に向けた決意を読み手に伝えます。  
非常にテンポ感がよく一瞬で文に惹きつけられました。「試合ま  
で」「試合中」「これから」と分  
かりやすい構成で中山さんの心情変化が分かります。来年は頂  
点に立つてほしいと心から応援  
したくなる作品でした。

# 作文の部



## ドキドキ・ワクワク選手権 パティシエ選手権

光塩女子学院初等科（6年）

山口 瑞花さん

ドキドキ・ワクワクパティシエ選手権  
光塩女子学院初等科 六年 山口 瑞花

本屋さんでの事だ。た。私が大好きな「パティシエ☆すばる」という本を買う時に、本の帯に小学生パティシエ選手権の紹介がされていたのだ。それを見た私は応募してみたくてたまらなくな、た。

何のお菓子を作ろうかな、考えはじめるとワクワクがとまらない。ただ、私は一人でお菓子を作、た事はまだない。少しすつアイデアを出してみた。

いくつか考えていくうちに面白い事を思いついた。私は小さな頃から折り紙が得意だ。クレープで折り紙を作、たらどうだろう?こんなお菓子は見た事がない。考えただけで興奮する。

早速応募の写真を撮るために材料をそろえて作りはじめた。しかし、実際や、てみるとイメージ通りにいかないのだ。クレープを裏返す事も難しい。フライ返しでは折れたりし

光塩女子学院

て綺麗に裏返せないので手で持て裏返そうとしたら熱くてヤケドしそうにな、た。さらには焼きあがったクレープが薄すぎて、穴があいたり破れたりしてしまい、折り紙どころではない。

まず、熱くて裏返せない点は分厚いゴム手袋をつけて、手袋ごしにさわることで解決した。しかし、折り紙ができない点はどうしよう。私は母に、「クレープが破れてしまうからどうしたらいいかな。」と相談してみた。母から薄焼き玉子を作る時の話を聞いて片栗粉やコーンスタークを入れてみる事にした。生地を何度も作り、分量を変えてや、と破れにくいくれープができた。そして私はクレープでワイシャツとネクタイ、カーネーションを作り「父の日・母の日折り紙クレープ」が完成した。

「とても素敵ね。」  
「おいしいよ。面白い考えだね。」

と両親はとても嬉しそうな笑顔になれた。手作りお菓子の良い所は相手を笑顔にできる事だと私は思っている。私はいつも母の手作りお菓子で温かい気持ちになり、「笑顔にな」てきたからだ。

そしてこの作品は七四四人応募の中、五〇人の入賞作品に選ばれた。それが昨年、五年生の時の事だ。ものすごくうれしかったけれど、決勝の十人に届かなかつた事は少し悔しかった。母はよくお菓子を作るのだが優勝者が

の作品を見て

「すごいわねえ。これは私でも時間内に作る自信ないわ。」  
と驚いていた。来年までも、と腕をあげてまた応募しようと思つた。

そして今年も春になり応募要項が発表された。昨年のテーマは「笑顔になれるお菓子」だ。たが、今年は「仲良くなれるお菓子」で、仲良くなりたい相手におくりたいもの、と書いてある。仲良くなりたい、ということは

光 塩 女 子 学 院

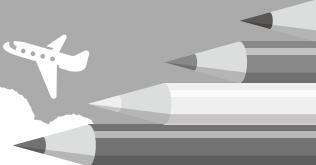
今現在友達でない方がいいのかなと私は色々考えた。私の学校は姉妹校がスペインにありその生徒達と仲良くなりたいのでスペインと日本をモチーフにしたお菓子を作る事に決めた。

しかしこからが大変だ、た。アーレッシャーからかうまくいかない。まず、私のアイデアはタルト生地を作り、ゼリーを流し込むというものだ。た。タルト生地を寝かせないとベチャ、としたり、生地がうまく伸びない。

タルトは普通数時間から一晩寝かせるのだ。しかし、決勝では二時間半で全て作らなければならぬらしい。私は母にまたたずねた。「寝かさないでタルトを作れなさいかな。」

私は達はたくさんのお菓子の本を読んで解決方法をさがした。そして悩むこと数日、母と私はバターを使わずオイルを使えば生地を寝かさなくても良いらしくといふことが分かった。また分量を変え、何度も試してタルトは完成した。しかしながら難関が待ち受け

# 作文の部



いた。ゼリーがタルト生地に吸収されてしまふのだ。そしてゼリーが固まるのにとても時間がかかる。また調べて、ゼリーを早く固めるにはゼラチンの分量を増やすよりも氷水でまわしながら冷やす方が速いと分かった。

しかしタルト生地に吸収される問題がまだ残っている。タルト生地にはも、たりした生地を流すことが多いらしく、水分が多いゼリーは向かないかもしれない。何度もくじけそうにな、たがる日思いついた。余、た卵液をタルトに塗、てコーティングしてみよう。

急速ためしてみるとゼリーが吸い込まれずに固ま、た。味見をしてみたらすごく美味しい。私は踊り出したいぐらい嬉しくな、た。そして作品を仕上げて写真を撮り応募した。

この瞬間が一番ドキドキする。もしも決勝に出られなくても、入賞しなくてもこのお菓子を考えて樂しか、た時間は私の宝物だと思う。

光 塩 女 子 学 院

「相手を笑顔に」するために、多くの失敗、チャレンジ、工夫を繰り返し、お菓子作りを行っている山口さん。家族との関わりを中心に、少なくとも二年間に渡る努力が丁寧に分かりやすく描かれており、思わず応援しあくなる文章です。このお菓子を作るために話し合い、チャレンジした日々は、まさに人生の

「宝物」

たからもの

ですね。

選評



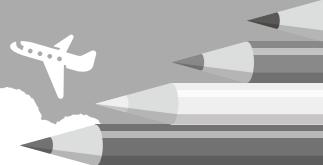
# たのしかつたな なつやすみ



新宿区立市谷小学校（1年）

鈴木 すずき  
瑛和 てるよし  
さん

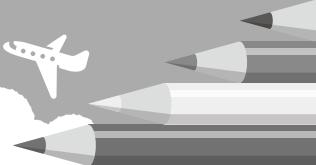
# 作文の部



た	か	り	あ	も	は	い	か	り	う	か	い	も
の	り	が	そ	ま	く	は	ま	し	か	い	て	い
し	で	い	び	す	き	い	ま	し	か	い	、	む
い	す	る	た	。な	と	ど	ま	し	か	い	、	と
ん	。	か	り	い	い	き	ま	し	か	い	、	し
ん	い	く	き	せ	の	き	は	し	か	い	、	と
す	と	す	ん	で	と	き	ま	し	か	い	、	お
。	こ	あ	。	の	ど	り	か	ま	か	い	、	で
こ	と	さ	。	か	む	き	か	ま	か	い	、	、
あ	さ	か	。	た	く	き	か	ま	か	い	、	か
る	か	た	。	で	く	は	か	ま	か	い	、	く
る	か	か	。	い	く	し	か	ま	か	い	、	ち
か	か	か	。	く	く	、	の	ま	か	い	、	。
か	い	ま	ば	か	り	、	じ	ま	か	い	、	か
り	る	き	い	く	つ	。	じ	ま	か	い	、	。



# 作文の部



## わくわく・ドキドキおあい手活どう

東京学芸大学附属世田谷小学校（2年）

井上 いのうえ  
ミモザさん

わくわく・ドキドキおあい手活どう

二年 井上 ミモザ

さくらがきれいな四月、朝からわくわくする気もちがあふれ、心ごうのドキドキもおさ

まりません。なぜなら、私はお姉さんになる

からです。でも、私の妹は「オギャー！」と

はなきません。お家の人に連れられて学校に

や、て来た新一年生なのです。

私の学校には、一年生のお世話をする、お

あい手さんと言ふやくあります。妹

――――――――――――――――――――――――

も弟もいなし私は、年下のお友だちにやさしく出来ることをすきになつてく

れるだらうか。なつかよくなれるか、ふ安な気

もちになりました。

ドキドキ・ドキドキ。頭がま、白になり、

入学の会が終わりました。いよいよ、二年生

に、た私の初めてのおしごとです。

（せは、私よりも小さいぞ。かわいいなあ）

（でも、手のひらの大きさは同じかな）

心の中の声は、うまく言はになりません。教

室にあん内して、せきについてようやくあいさつをすることが出きました。

「私の名前は、ミモザだよ。よろしくね。」

すると、おあい手さんも

「よろしくね。」

と、言つてくれました。おあい手さんのえ顔

のおかげで、ふわふわ・わくわく丸くなつた

心は、風船みたいに空にとんで行きそうです。

おあい手さんは、弟が、いろいろ本当のお姉さん

で、もううき色やリボンがすきなことを知れ

――――――――――――――――――――――

ました。また、おあい手さんと私のたん生日

が一しょだと言つことが分かり、私のうんぬいのおあい手さんだ!!』と強く思いました。

入学の会のつぎの日から、大しごとがづきます。とう校のお出もかえ、学校たんけん

ぐう、と鳴るおなかをおさえて、きゅう食のはいぜんのお世話をしました。あ、という間に一日がすぎて、下校の時間になりました。

わすれ物をしないように、おあい手さんのランドセルに物を入れてあげました。手をふ

てお見おくりがおわるころには、もうへとへとです。

(おあい手活どうして大へんだなあ…)

私は、心の中でつぶやきました。でも、おあい手さんが楽しそうに下校するすがたを見て元気がわきでてきました。

一も。とおあい手さんとがよくなりたいと明日からも、も、とがんばろうと思いました。おあい手さんのお姉さんによううと、私ははりき、ていました。けれど、絵や歌も上手

で、きゅう食のお茶パックは、教える前に一人でつぶせました。一番おどろいたのは、自分から話しかけてお友だちを作れた所です。

(私がいなくても大じょうぶかな?)  
お茶パックよりも心がべちゃんこにな、た日もありました。その時、ふと私が一年生の時のおあい手さんの顔が目にうかびました。

初めて通つ小学校には、大せいの人がいました。はじめましての先生やお友だちがいる中で、私はドキドキきんちゅうしていました。

「ニモザちゃん!!」

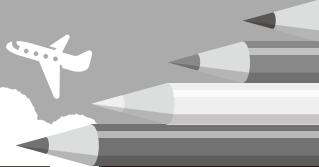
名前をよんでもくれるだけで、安心しました。校内ですれちがうと、え顔で手をふしてくれるので私もえ顔ですごす時間がふくらみました。すると、心がふわ、とふくらみました。『そだ! おあい手さんはお姉さんじゃなくてもいいんだ。心を近づけて一しょにすごすだけでいいんじやないかな?』

そう考えることが出来るようになると、おあい手活どうはわくわく楽しいことにつかわりました。

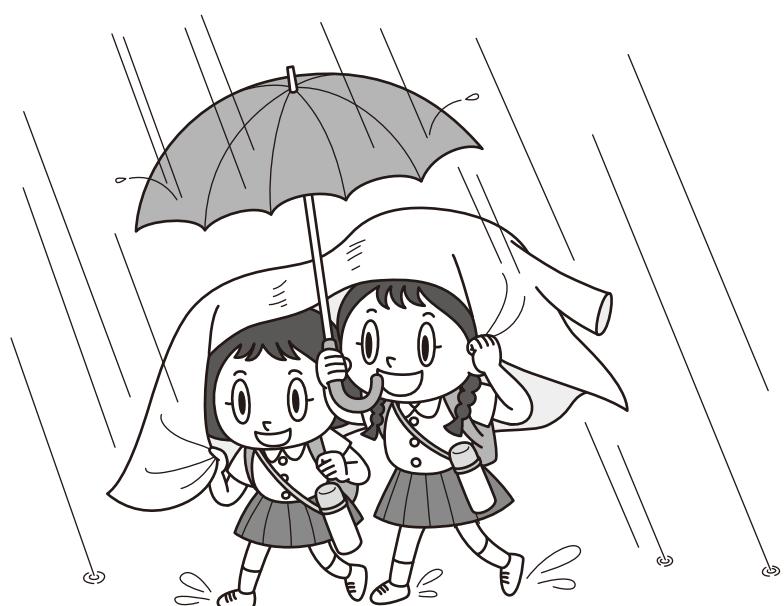
うんどう会はきゅう力することが一番。心を合わせておどりました。大雨でと中で学校に帰ることにな、た遠足では、わたしの一まいのレインコートを一しょにかぶつ、ぎゅいと体をよせ合、ておあい手さんのかさに入つともわすれられない思い出です。たすべき合つことの大切さやあい手への思いやりはおあい手活どうで学んだことの一つです。

「ゴーロゴロー、ゴロゴロー、こわいよ!」

# 作文の部



夏休みが近づいてきたころが、みなみが鳥りひじき、一年一組からひ鳴が上りました。おあい手活どう中だ、た私は、  
「こわいよ。」  
ふるえて言うおあい手さんの手をぎゅーとに  
ぎーて、  
「大じょ、うぶだよ。こわくないよ。」  
と、つたえました。私の気も、がつたわ、た  
ようになら、てくれました。がみなりを止め  
ることはできないけれど、気も、りそ、う  
だけで心がつうじ合うんだとかんじました。  
二学きの末、学園祭のきせつにはおあい手  
さんとす、かり仲良しです。私のクラスでは  
音読公演を行いました。開演、真近におあい手  
さんが来て私はおどろいてしました。  
「おあい手さんも私を見守してくれたんだ！」  
うれしくて感じ、の気もちが届くように歌い  
ました。わくわく・ドキドキが沢山の春を元  
気に迎えられるよう、私の「うんぬいのおあ  
い手さん」これからもどうぞよろしくね!!





# 将棋イベントの日

明星小学校（3年）

小林 由作さん

将棋イベントの日

小林 由作

井上一門入場  
場内にアイウーンスが流れた。僕は胸がドキドキしてのぼりを持つ手がふるえた。

行くぞ

一緒にのぼりを持つ菅井竜也王位が優しく声をかけてくれた。僕は将棋イベントの主さいの人に、憧れの井上一門ののぼりを持つ役者頼まれていた。のぼりには「井上一門 菅井

竜也 稲葉陽 船江恒平

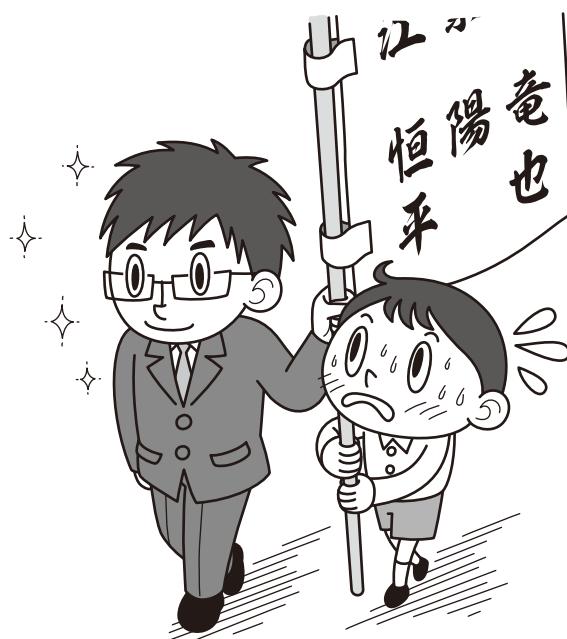
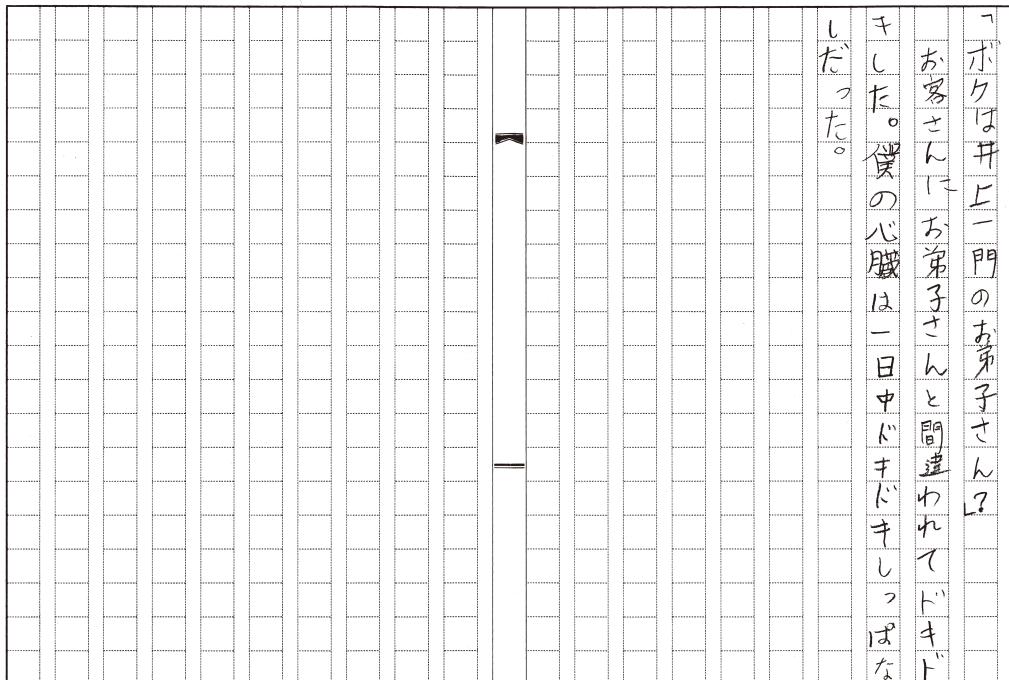
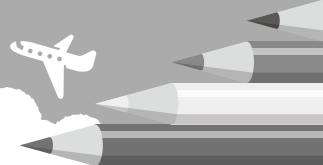
と、大きな文字で、関西の名門で有名な井上一門の棋士の先生の名前が染めてある。両か開くと、会場のまぶしい光とたくさんのお客さんが見えた。僕は怖つたけれど、菅井先生と一緒にのぼりを持て一歩一歩進む。会場を一周するだけなのに永遠にゴールにたどり着けないみたいだつた。僕の心臓は爆発しそうだつたけれど、先生を見上げると、喜んでうにじしていた。とても心強かつた。

将棋イベントが始まった。菅井竜也王位との対局で見られるとはない。普普通の対局を見られること嬉しくて、前の日はよく眠れなかつた。菅井先生が指すごとにビシッ！駒音がひびく。たくさんのお客さんが対局に注目している。時々菅井先生の体がゆらゆらゆれる。菅井先生は目で見いで脳内の将棋盤で確認をしているようだ。た。局面はひよじよに山崎先生の優勢にかたずいていく。そして、菅井先生が投了して対局は終了した。僕は、ヨラで自分が対局したかたは迫力だった。

「将棋、毎日頑張れよ。」  
帰る時、菅井先生に声をかけられた。嬉しくてドキドキした。

小林 由作さん

# 作文の部





# ドキドキするカブトムシの毎日 カブトムシとの毎日

光塩女子学院初等科（4年）

小山 愛莉さん

「ドキドキするカブトムシの毎日」

光塩女子学院初等科 四年 小山 愛莉

「カブトムシの様子が変」

私はメスのカブトムシのセリ一匹をかえている時に気付いた。何をしているのだろう。大事に育てたカブトムシが死んでしまったら悲しい。大切な死んでしまったらどうしよう。

私はとてもあせった。すぐに母と弟が来て、みんなでケースをのぞきこんだ。その時、カブトムシのお尻から出でいた物が地面に落ち

た。白くて丸い物。それは卵だった。びっくりして、弟と喜んで土の中に卵があるかどうか

カブトムシしながら、もとさがす事にした。その日からカブトムシはセリをたくさん

食べて、あわにつつまれたヨリほどの大

な白い卵を産みつづけた。メスは卵を産むと

後ろ足で卵の上に土をかぶせる。不思議、だ

れにも習っていながら。それでも、カブトム

シは元気なので卵をつぶさないかと少し心配になってしまった。ゼリーは一日に5回も

かえた。中身は土にこぼす事もあるけれど、

残りはきれいになるまで食べる。産卵の時は

とてもお腹が空いているんだ。

今年は山でカブトムシをさがす事にしてい

た。けれど一匹もいない。コクワガタは見付

かったのにカブトムシはない。現地の方に

聞いてみたら、

「去年はすずしかったからたくさんいたけれ

ど、今年は暑すぎて幼虫が土から出てこられ

ずに死んでしまったのだろう。」

とおっしゃっていた。カブトムシが少ない

という事は、今年は見付けられないかもしれ

ない、と不安になつた。その後、父の「案で

セリ一匹を木の下に置いておひきよせる事にし

てみた。しかしとても悲しい結果、アリが食

べてしまつて、カブトムシやクワガタは一匹

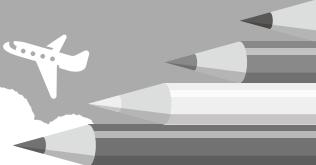
も来なかつた。この調子だとやはりカブトム

シは見付けられないだろうと私はがっかりし

ていた。

ちょうど、地元の朝市でカブトムシやクワ

# 作文の部



ガタが当たるくじ引きやめていた。二日間ちよう戦したが当たらず落ちこんだ。いつも緊張してくじを引いた。たくさんの方も達がならんでいたのに、なんと、私はほしかったカブトムシがオスとメスのペアで当たった。大当たりだった。弟とハイタッチして喜んだ。心がおどった。これから大切に育てるぞ、心をこめて育てる」という気持ちでいはだった。

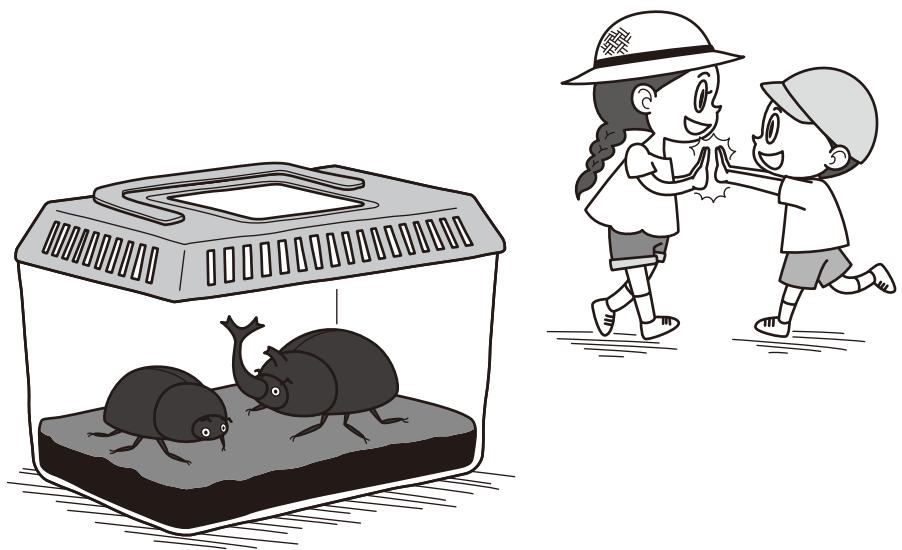
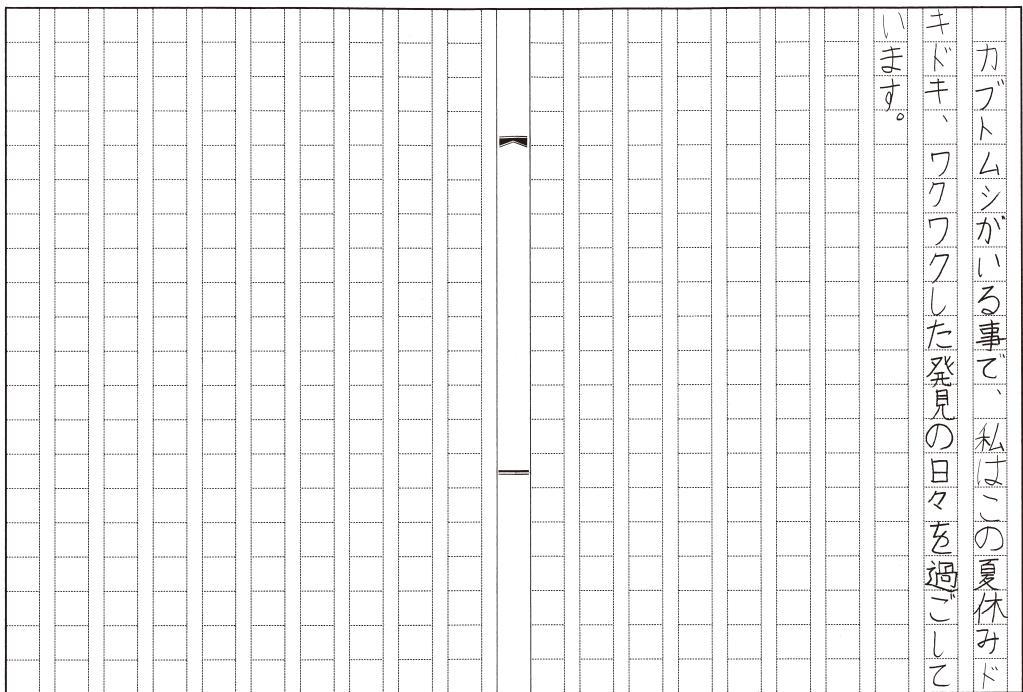
それから、ケースに木と土とゼリーを入れて毎日お世話をした。カブトムシはとても元気に動いて、丸くてかわいくて、私も元気に育つた。

メスのカブトムシは今、産卵袋がんばっていろ。せせと王をかぶせて働いている。孫のためにがんばるぞといつカブトムシの気持ちが表れて、いろよな気がする。カブトムシは力を使って卵を産むため、卵を産み終わら死んでしまう。悲しいけれど、自ら子供

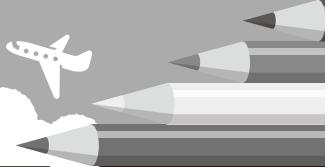
ものために働いているカブトムシをほこらしく思う。カブトムシは人間のように子育てしない。親は子に自分で生きてもらわなければならぬので、自分が死んでも生子られるようにする。飼育されている場合は敵はいかけれど、自然界ではどこにひそんでいるかわからぬ。そのため、親も必死で卵を守ううとするのだと思つた。

る事はどうでも楽しくて、私の気持ちも明るくなる。  
朝起きたとすぐ力ブトムンが元気が見に行き、カリカリと前あしをケースにくつけて動いているすがたを見ると元気をもらえて、まるでカブトムと話しているように思える。  
「いつモゼリ一をたくさん食べててくれてうれしいよ。ずっと元気でいいよ。ほしーな。」  
「うん、ずっと元気でいたいな。卵を大切にしちゃね。君に任せるとよ。」

カブトムシがいる事で、私はこの夏休みドキ、ワクワクした発見の日々を過ごしています。



# 作文の部



## 江戸風鈴のわくわく体験

光塩女子学院初等科（4年）

鮫島 麻里菜さん

江戸風鈴のわくわく体験凸  
光塩女子学院初等科四年 鮫島 麻里菜  
「チリンチリン！」  
軽やかな風鈴の音が聞こえます。打ち上げ花火の音、エイサーに代表される和太鼓の音、笛の音、もちろんセミの鳴き声も。。音を聞くだけで、「ああ、夏だな」と実感します。夏休みになるので、大好きな学校はお休みで行けないけれど、大好きなお姉ちゃんが産まれた季節。私は夏が大好きです。

今年の夏、私は江戸風鈴作りの体験に出かけました。風鈴は夏の風物詩です。風が吹くたびにベルニグから素敵な音を届けてくれる風鈴を、自分で作れるなんて。と私はお家の中でスキップしてしまいました。

商店街の中に「篠原まるよし風鈴」というお店がありました。ちょと狭い入り口を通って奥まで行くと、大きなかまの中で火が燃えたりました。今年はもう暑と言われる暑ですが、外の暑さとは比べ物にならない暑さです。

「本当はこの風鈴を作れるようになるまでに十年かかるんだけど、今日はおじさんがお手伝いするし、絶対に出来るから楽しんでいい」ですね。ここで一番大切なのは、楽しむ大好きという気持ちなんだよ。と教えてくれました。私は少し驚きました。

「暑さです。そのかまの前に、やさしそうなおじさんが立っていました。篠原正義さん、このお店の店長さんです。は、ぴが似合ひそうなおじさんの姿を見て、お祭りを思ひ浮かべてしましました。江戸風鈴は、風鈴の中にある、音を鳴らすおもりが鳴り口にぶれ合ったときに普通の風鈴に比べて、ガラガラした感じの音が出るという特徴があるそうです。普通の風鈴は、口の部分がギザギザしてしません。でも江戸風鈴は、音が出やすいうに底面をわざとギザギザにしているのです。だから、ここで手をかけがしないように気を付けて取り扱ってね、と言われました。おじさんは、

テレビなどでよく見る多くの職人さんは、こ

むずかしい顔をして、これは難しこんだ、な

かなか出来ないものなんだ、と言っていたか

うです。

かまから出てきたガラス。まるで火の玉のようでした。さあ、ちよっせんしてごらん、と伝わってきました。よし！ やるぞ！ まずは一人で吹いてみました。ブクツ、とふくらんだのはいいのですが、いびつな、おかしな形になってしまった。これでは絶対に良い

音は鳴らないな、と吹き出してしまいました。

ほら、やつぱりおじさんの言う通り、難しぃ

でしょ、とガラス玉まで笑つて、いるようでした。次に、おじさんに手伝つてもらいました。そ、と吹いてみると、一瞬真、白にふくらみながらすぐ透明になりました。その一瞬を見逃さず、ストップをかけてくれました。

「これで思いのこもった音が決まつたよ。本当は三年かかるんだけれどね。今日はおじさ

んが魔法をかけているから。次は十年のところ、いくよ。」

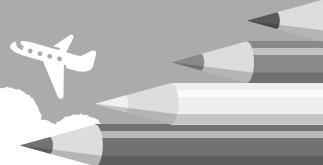
本当にちょ、とした力加減なのです。うれしいのと楽しいのとで、思わず笑顔になりました。次に吹いてみると、きれいな丸型にふくらみました。この透明のうすいガラスが風鈴に変身するのです。

「たくさんの思いを込めて出来たかな？ その思いがいい音につながるんだよ。一つ一つ全部音が違うのは、思いがみんなそれそれ違つからなんだよ。」

とおじさんは教えてくれました。この風鈴の中には私の思いがたくさんこもつてゐる！ どんな音になつて、いるのかな？ と仕上がりが楽しみになりました。ふと周りを見るとみんなが笑顔になつて、いました。私には、おじさんが本当の魔法使いに見えました。

絵付けも終わり、ひもをつけてもうつて完成です。世界で一つしかない、私が作つた江戸風鈴、そ、とふ、てみると、

# 作文の部



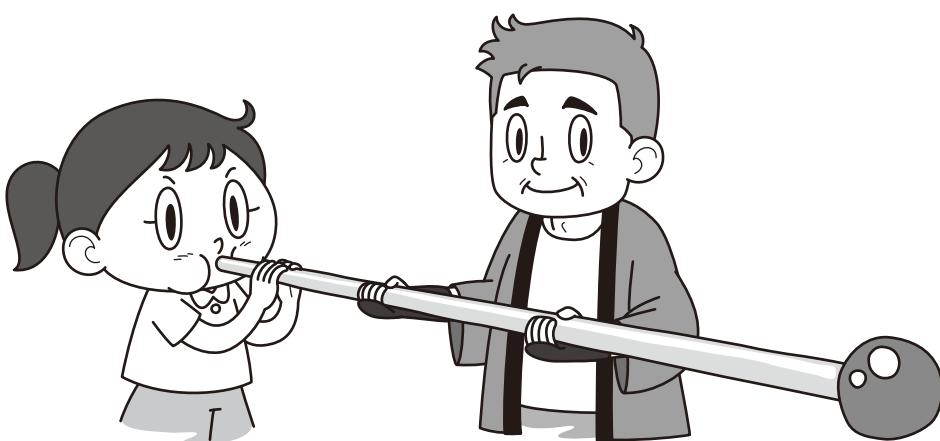
チリンチリン

普通の風鈴よりもほんの少し低めの、でも、とても澄んだ音がひびきわたりました。お姉ちゃんのも、お友達のもみんな違う音色です。一緒に鳴らすと合唱のようになります。さやかになりました。すぐにでも浴衣を着てお祭りに行きたいな、と思いました。

こんなに素敵な日本の文化をうけつぐ店が今は二件しかないと聞いて私は本当にびっくりしました。でも、こんなに素敵な体験が出

来て、私が大人になつても、この江戸風鈴はなくなつてほしくないなと思いました。江戸風鈴を作れる体験の機会を与えてくれたおじさんと、連れて行てくれたお母さんとお姉ちゃんに、ありがとうございました。

大好きな夏にまた一つ、素敵な思い出が加わりました。世界に一つしかない私の江戸風鈴は、私の宝物になりました。本当にありがとうございました！





## 達成感を感じる

達成感を感じる

菊地 こころ

今年の五年生はソーラン節です。わたしはおどりが得意だから、「今年も楽しみだな」とワクワクしていました。

でも始まつてみるとソーラン節のおどりは見た目はかんたんそうでもとてもむずかしいものでした。こしをおとすことや、手や足をのばすことなどでよく注意されていました。動きがはげしく、体力をとても使うので今までおどりで一番つらかったと思います。それでも、毎日休まず練習し、ふりつけをすべて覚えて、ソーラン節の検定も一発合格したのです。練習の時は心の中で「もうおどれなによ、のどがかわいたし、手足もいたいしもうダメかも」と思つていたけれど、今ではあの練習のおかげで成功したのだと思ひます。

それでもあきらめないで練習してよかつたことがたくさんありました。ソーラン節のフイナーレをかざる旗を持つクラス代表に選ば

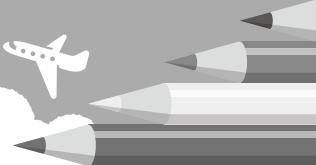
練馬区立泉新小学校（5年）

菊地 トトロさん

れることもその一つ。わたしはこの役目を聞いたとき、すぐにやりたいと思いました。心中では、「去年の五年生はフイナーレの旗を持つてた人がとてもキラキラと輝いていて、かっこよくて、すごいから自分もんなふうになりたい」と思つたのです。この役はおどりに情熱がある人ができる役なのです。「今までがんばって練習してきましたが、この役にぴったりなはずだ」と心の底から思つたのです。でも、他にも選ばれたいとい

う人たちがいて、その人たちもおどりがとてもうまい人たちで心配しました。「これじゃ選ばれないかな?」とあきらめませんでした。この練習の成果をここで見せつけようと思ったのです。オーディショーンの時音楽と同時におりだすと、みんな全力でした。その中でおどりました。わたしは教えてもらつたコツを使ってテキパキとおどりました。そして結果はみごとに合格です。とてもうれしくてたまりませんでした。

# 作文の部



旗を持つ時には下にいる二人がわたしの足を支えて、わたしが二人の太ももに乗り旗を上げます。最初に乗った時はとてもぶらぶらしていましたけれど、練習をしていく内にどんどんバランスがとれていきました。「高くて落ちそうなのは分かるけどんばって立たなきや」と自分にいい聞かせながらも、先生達からアドバイスをもらひどんどん上達していました。「本番楽しみだな、ママやパパに見せたらなんていふかな」と前日の夜考えていました。

ついに本番。心ぞうがドキドキとなりひびき、手あせをたくさんかいていました。もしやしたら、「おどつている時に転ぶかも。」「旗を持つ時にぶらぶらして落ちるかも」と不安でいっぱいでした。でもそんなこと思っていたら、よけいに失敗してしまいかもしれまい、だから自分を信じがんばりました。わたしは手を上げたり、足をのばしたりいろんな動きをしておどりを完成させた時、自分の

力をすべて出しきった気がしました。いままでのうれしさや苦しさと努力をこの旗にこめて終わらせる時、むねをはって大きく旗を持ちました。周りからはとても大きはく手自分がすごく輝けたと思いました。

われたしにとつて達成感とは、何かをやりきったときの満足感です。たとえば、自転車を修理したり、料理を作ったり、本を読んだりなど、何かを達成したときに感じられる感情です。この達成感は、自信や満足感につながります。

ささいと言へたくなるのではなく、いわうか、わたしはこれから、何事もあきらめないで最後までやりとげることを忘れずに、いろいろな事に立ち向う戦していきたいです。そして自分をもつと輝かせていくたいです。



# 空からの贈り物

光塩女子学院初等科（6年）

宮田 侑季さん

## 空からの贈り物

光塩女子学院初等科 六年 宮田 侑季

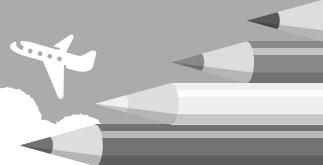
「私は今年こそ絶対に見られる気がする！」  
ニコースを見た私は、びょんびょん飛び上がる  
て小おどりしてしまいました。ニコースでは  
ペルセウス座流星群について伝えていました。  
毎年八月十二日から十三日ごろに観測できる  
流星群で、一月のしぶんぎ座流星群、十二月の  
かたご座流星群とともに、「三大流星群」と  
呼ばれています。今年は八月十一日が新月の  
ため、月明かりの影響を受けずに良い条件で  
流星を観察することができたのです。私は  
小さい時から星が大好きなので、この時期は  
毎年近くにある空がよく見える「原っぱ公園」  
に観に行ったります。でも、曇り、アリ、街  
灯が明るかたりして実は生まれてから一度  
も観たことがありませんでした。条件が良い  
今年なら、きっと私も観られるのではないか  
と思い、カレンダーに大きな星印を書いて樂  
しみに待つことにしました。

光塩女子学院

「いいよ、十一日になりました。だんだん夜  
が暗くなってきたので、ペランダに何度も見  
出で夜空をな Abram みました。思いの外、空  
は雲がおおいからさていて、星が一つも見  
えませんでした。夜に雲が見えるなんて、東  
京の空は明らかにだなと改めて感じました。  
夜中なら、雲が消えているかな。一番観測  
しやすい時間帯に起きようかな。」  
と思いつい仮眠をしました。十二時すぎにまた空  
を見てみると星が一つも出ていませんでした。  
「や、ぱり今年も見られないのかな。こんな  
時に曇りだなんて。」  
と少し、が、カリしてしまいました。あまりに  
落ち込んでいた私を見たお父さんが天気予報  
を見てくれました。  
「条件はいいはずだとは言つても雲がなくば  
らないと見えないよ。天気予報ではここ数  
日の間は雨や曇りが続くみたいだから、残  
念だけれど他の人達も観られないよ。」  
となくさめられました。

光塩女子学院

# 作文の部



十二日の夜も天気予報どおり実際に曇りで、星空は見えそうにありませんでした。諦めきれない私は、夜の十二時ころまで時間を置いて何度も外に出でました。少し雲が薄くなった時もありましたが、しかし星が見えようのような状況ではありませんでした。夜もおかいのでなるよう言われた私はしぶしぶベッドに入りました。どうしても諦めがつかない私は全く眠りにつけませんでした。そのうちに、二日連続で曇ってしまったことや自分

がねていける間に見るチャンスを逃してしまったのかもと様々な事を考え出しまいました。突然号泣してしまいました。

「や、ぱり、じうして見たいや。」

「流星群の観察をあきらめたくない。無理かもしれないけれど、どこでもいいから流星が見えるところまで連れていこう。」

光 嘉 女 学院

今までの私の思いを一生けん命伝えてみた。するとお父さんが「無理かもしれないけれど天気予報だと九十九里浜辺りまで行けば晴れているかもしない。行かれてみよう。」

車を出してくれることになりました。千葉に行くまでの車中、私は夜中の間に眼鏡も飛んでずりと空を見続けていました。すると、レンボーブリッジに近づいた時、東の空に星が見えてきました。興奮した私は

「雲が見えなくなってきたよ！」

大きな声でさけんでしまいました。真夜中のアーカーラインは真暗な世界に浮かぶ光る道の様でとても神秘的でした。星をたよりにして、近くのインターチェンジで高速道路を降りてみました。ちょうど周りに何もない所があつたので車から降りて空を見上げると、しゃかりと星空が見えました。放射点があると言われていた北や東の方位磁針で探してみ

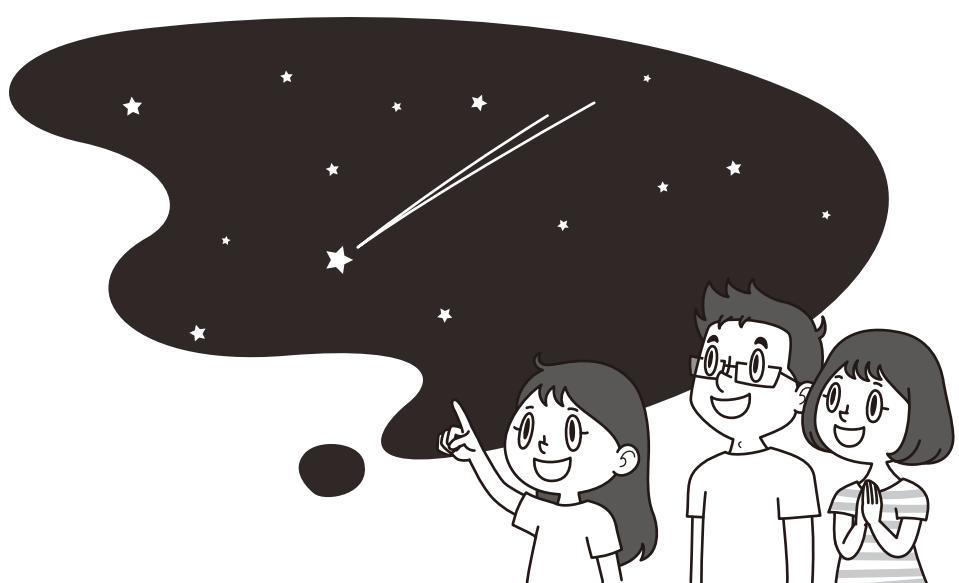
がめました。風が強くて途中で雲が流れてしま

て、ひやひやしました。いつもと同じ夜空に本当に今日流星が流れるのかなと併配になつてきました。突然明るい一本の線の上つなが見えました。その光はすこし上から下に流れ、消えていきました。

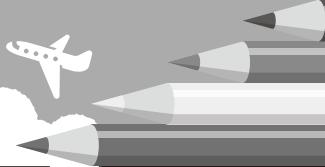
「あ、今のやうだよね、見えた！」

「私がさけぶとお父さんとお母さんも歎声を上げました。実際に流星を見て一瞬の出来事でしたら、今まで感じたことがない気持ちになりました。沢山の流星は見られませんでしたが、この様な気持ちにさせてくれた流星は空から私にくれた素敵なお贈り物なのだと感ります。星空の観察で宇宙の無限の広さを感じる事ができ、ますます星が好きになりました。

流星群のことや見られる場所を色々と調べてくれたり、私のわがままを聞いてくれたりしたお父さんやお母さんに心から感謝したいと思います。小学校生活最後の夏休み、真夜中の大冒険ができてとても楽しかったです。



# 作文の部



## わくわくする事

「わくわくする事」

「わくわくする事」

日黒星美学園小学校 六年 伊藤 百合

私がわくわく・ときどきする事は、大きさのものではない。遊園地とか旅行とかも。と特別な事もたのしいが、私は日常のここにものわくわくしている。人から見ると、「え、こんな事が楽しいの!」と思われると思うが、私には小さい、たわかなことが大きなもの、特別なものに思える。

私がわくわくするのは、例えばこんな事や

物だ。セミの抜けがらをすみすみまでよく見る。冬、白い息で遊んでみる。イチヨウの落ち葉を幼い子供みたいにさはーんとかぶつかる。カタバミの葉で十円玉をみがくと、ピカピカになる。ササンカの奥の方のみフをなめアみる。水のもよつを見て友達と感動する。他にもまだあるが、キリがないのでこのへんでやめておく。具体例を書いていううちに、何かに似て「る」と思つたした。それ

昔の人も、あれやこれに感動していたり、どうしていいのかなんなん?を考えるところと楽ししい。

私は、このようなことを見たり感じたりする、何か世界の秘密とのでき見たよう、とさじきする。小さなものに、大きなものが息づいていこうがする。他にも、こんなことを田へ、アいたへか「う。

学者アあうとなかろうと、人生に飽きア疲れたり、孤独にさいなまれることはないでしょう。

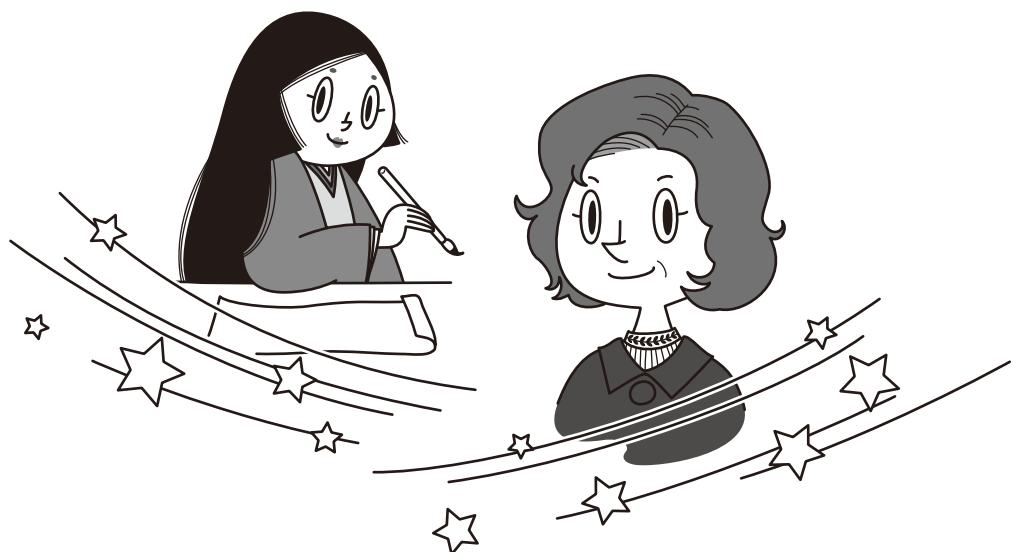
これは、「沈黙の春」で環境問題をついたえた海洋生物学者、レイナル・カーリンの残した言葉だ。もし今、人生に疲れた人や、自分は孤独だと感じている人から、一秒でもいいので空を見上げてみてほしい。何かいい事がある気がするし、自分の悩みがとて

も小さな事に思える。

日黒星美学園小学校 (6年)

伊藤 いとう  
百合 ゆりさん

私は、自ら楽しむことを見つけることを大切にしている。一輪の花が咲いているのを見つけ、それを喜ぶことが、テキーラ人は、きっと楽しい生活を送ると思う。小さな幸せ、小さな幸運で喜ぶことは、人生を楽しむ力がもしされない。そして、この小さな幸せは、与えられるものではなく、自分でつくり出すものだと思つ。いつも受け身では自分から動き出でることはできない。いつも、わくわく、どきどきでいることを探して、友達や家族と笑い合えたらすごくいいなと思う。



## 作文の審査を終えて

## 審査員の先生 〈敬称略〉

みやざき こうじろう  
宮寄 光次郎  
ひじ みさと  
臂 美沙都

清瀬市立清瀬第十小学校教諭（東京都小学校国語教育研究会）

練馬区立高松小学校教諭（東京都小学校国語教育研究会）

今年の作文テーマは「どきどき・わくわくしたこと」。応募された作品は、どれもみなさんが実際に体験したこと�이一生懸命に綴られていて、たくさんのどきどきわくわくが詰まつていました。

低学年の作品には、家庭や学校で過ごす中で感じたことが中心に書かれていました。家族との旅行。初めての運動会。二年生になり年下の一年生を初めて迎える瞬間。初めて体験したことへの素直な感動が伝わってきました。できるようになつたことへの喜びを表す文章に、力強さを感じました。

中学年の作品には、学校の友達など身近な人との様々なかつとも、や習い事、家で飼つているペットなどありました。読み手を惹き付ける題名の工夫や比喩の数々に中で気付いたときわくわくが多々ありました。読み手を惹き付ける題名の工夫や比喩の数々にわくわくしたことがあります。応募された作品は、どれもみなさんが実際に体験したこと�이一生懸命に綴られていて、たくさんのどきどきわくわくが詰まつていました。

高学年の作品は、自らが決めた目標に向けて葛藤するようなどきどきが多くありました。葛藤を乗り越えるためには何が必要なのか。どうしたらもつとよい結果につながるのか。自分自身と向き合い解決策を探り、そして、さらにやり通そうと努力する姿が目に浮かび、応援したいという気持ちになりました。

思いを言葉にすることは意外と難しいことです。しかし、文の巧さ以上にどの応募作品からも「伝えたい」という思いが強く感じられ、読み手としても、どきどきわくわくの連続でした。

生活する中で、私たちは多くのどきどきわくわくを体験します。その感情は、きれいな絵の具で色付けするように、自分の生活や感情を色鮮やかなものにしてくれる



審査中の宮崎光次郎先生（左）、臂美沙都先生（右）

ものです。これだけの思いの伝えられた  
られるみなさんには、きっとこれから  
らも、体験や発見から色々なこと  
を感じ、考えていくのでしょうか。  
素敵なものも、大切に、これからも  
「書くこと」で伝えることを楽し  
んでほしいと願っています。



# 日本でいちばんたかい山ふじ山

・ 東京学芸大学附属小金井小学校（2年）  
・ 世田谷区立山野小学校（1年）

川島 かわしま  
いしぐれ いしぐれ  
陸さん りくさん

# 森のカブトムシ

1 ひめのトライ

ニウムヒナノウツクシイモトノハ

ア田二率がば花

# 夕日に浮かぶ花

## 立川立栗原小学校（6年）

ね  
.....  
絵画造形サークル（1年）

# いるかのかぞく

メテノ吸吸ガルニカシヨウカウキア  
.....光明女子学院初等科(立).....

スハは即ちこれを云ふ事ハシマリテの如キ

# 走っているイノシシ

# 雪ふるカラフルな町

# 第三回 中央区立常盤小学校

これがほくの笑顔  
荒川区立第五狭田小学校（4年）

新編　古今圖書集成　卷之三  
醫部典　卷之三  
本草綱目

中野区立啓明小学校（4年）

くまサークル  
八王子市立武分方小学校（5年）

ワジワジとあかいな仲間たち……………瑞穂町立瑞穂第四小学校（5年）

# 祭りの神様

港区立芝小学校（6年）

すきなやのがふつぱら  
世田谷区立山野小学校 (1年)

ぼく  
東京都立大塚ろう学校 永福分教室小学部（1年）

世田谷区立山野小学校（1年）  
世田谷区立山野小学校（1年）  
東京都立大塚ろう学校 永福分教室小学部（1年）  
三枝名波（いまむらななみ）

三枝 なみ 今村

大翔さん 彩花さん 真緒さん



## コンクール入賞者

ぼく	東京都立大塚ろうう学校	永福分教室小学部（1年）
いい天気に歩いているペンギン	世田谷区立山野小学校（2年）	世田谷区立山野小学校（2年）
ぜつめつしてしまった生きものたち	世田谷区立山野小学校（2年）	世田谷区立山野小学校（2年）
うみにいるクラゲと子さかな	世田谷区立山野小学校（2年）	世田谷区立山野小学校（2年）
シマシマカラフルざかな	世田谷区立山野小学校（2年）	世田谷区立山野小学校（2年）
雪いっぽいつもった町	江戸川区立東小岩小学校（3年）	江戸川区立東小岩小学校（3年）
雨の中のはぐれた3頭のしか	中央区立常盤小学校（3年）	中央区立常盤小学校（3年）
魚の群れ	東京都立大塚ろうう学校（3年）	東京都立大塚ろうう学校（3年）
海の中の生き物は？	文京区立根津小学校（3年）	文京区立根津小学校（3年）
よ空いっぱいに広がる星とはくちよう	文京区立根津小学校（3年）	文京区立根津小学校（3年）
自分のかお	荒川区立第五峠田小学校（4年）	荒川区立第五峠田小学校（4年）
わらった自分	文京区立第五峠田小学校（4年）	文京区立第五峠田小学校（4年）
がんばれ筆鳥君	墨田区立中川小学校（4年）	墨田区立中川小学校（4年）
顔	荒川区立第五峠田小学校（4年）	荒川区立第五峠田小学校（4年）
日本代表ユニホーム	世田谷区立山野小学校（4年）	世田谷区立山野小学校（4年）
私	東京都立大塚ろうう学校	東京都立大塚ろうう学校
サッカー	葛飾区立こすげ小学校（5年）	葛飾区立こすげ小学校（5年）
不思議な世界	絵画造形サークル（5年）	絵画造形サークル（5年）
私	東京都立大塚ろうう学校	東京都立大塚ろうう学校
見取り図の世界	城東分教室小学部（5年）	城東分教室小学部（5年）
日の出に咲く美しく危険な大きな睡蓮	永福分教室小学部（5年）	永福分教室小学部（5年）
新たな世界	福生市立福生第一小学校（5年）	福生市立福生第一小学校（5年）
楽しかった時	足立区立平野小学校（6年）	足立区立平野小学校（6年）
牧野のまきの	町田市立南大谷小学校（6年）	町田市立南大谷小学校（6年）
富澤ともさわ	智陸さんともみち	智陸さんともみち
新垣あらかき	樹さんたつき	樹さんたつき
原健人さんあらかき	大裕さんだいすけ	大裕さんだいすけ
上川渡辺かみかわ	心愛さんここあ	心愛さんここあ
高橋高橋たかはし	優真さんゆうま	優真さんゆうま
増川畠中ますかわ	大輝さんだいき	大輝さんだいき
山岸川端かわばた	穂菜美さんほなみ	穂菜美さんほなみ
岡村佳歩おかむら	怜菜さんれいな	怜菜さんれいな
高橋芽依まつひろ	大暉さんたいき	大暉さんたいき
五位野	高橋知滉まくはし	高橋知滉まくはし
詩生さんこうき	桃花さんももか	桃花さんももか
福田まきた	昊生さんこうき	昊生さんこうき
牧田まきた	福田まきた	福田まきた
山田やまだ	牧田まきた	山田やまだ
田中まきた	山田やまだ	田中まきた
高橋たかはし	五位野ごいの	高橋たかはし
一星さんいつせい	高橋詩生さんこうき	一星さんいつせい



# 日本でいちばんたかい山 ふじ山

世田谷区立山野小学校（1年）

川島 かわしま  
陸さん りくさん



## 選評 せんびょう

初めての小学校での夏休みに、富士山へ旅行をしたのでしようか。その時の楽しさや、富士山の大きさを目の当たりにした驚きがよく表れていますね。紙で部品をつくり、切って貼つて版をつくっていますが、髪の毛、1本1本や目の瞳の形まで、細かくつくり込まれていってすきだなと思いました。



## 魚ムシャムシャ カワウソくん



東京学芸大学附属小金井小学校（2年）

石榑 まいさん

選  
せん  
評  
びょう

今、まさに魚を食べようとしているカワウソの迫力がよく伝わってきます。カワウソが大好きで、よく観察したのでしょう。紙以外の材料も使つて、版をつくつていているので、素材感の違いを体としつぽ、手、ひげで分け表しているのもすばらしいなと思いました。じつと見ていると何の材料を使つているか分かつて面白いです。

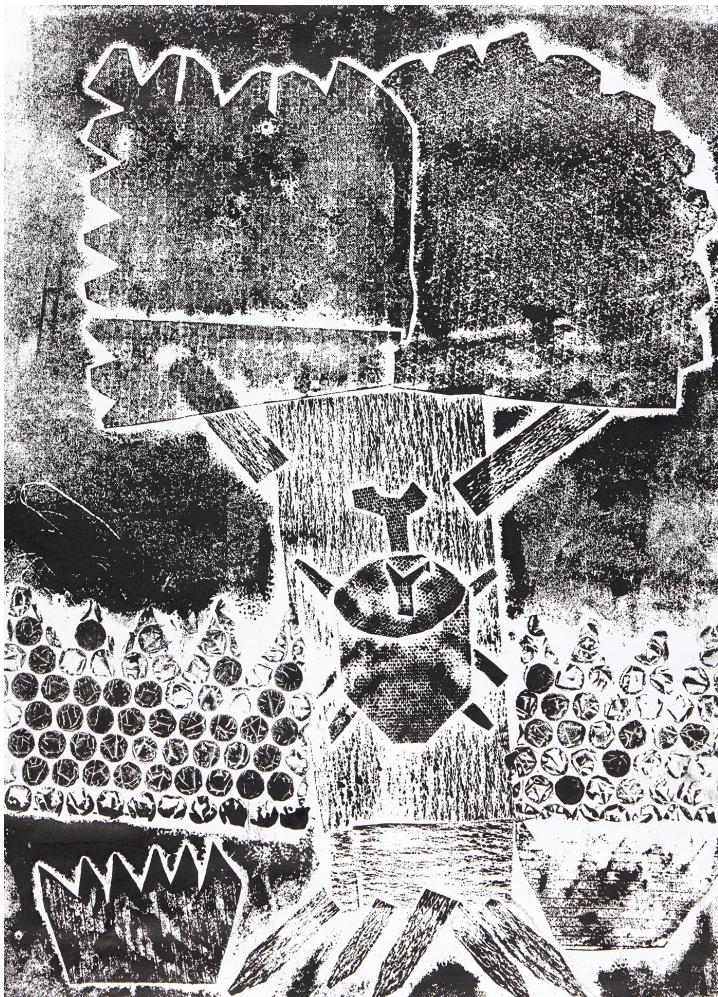


## 森のカブトムシ

世田谷区立山野小学校（3年）

武田  
たけだ

清廉  
きよかど  
さん



選  
せん  
評  
ひょう

紙や緩衝材などいろいろな材料を使って、版をつくつているのだと思いますが、素材感をうまく利用して、木や草や周りの様子を表現しているので、黒色一色で刷られている良さが生きています。形がはつきりと表れているので、カブトムシも目立っています。夏の暑い日にカブトムシを見付けた感動が伝わってくる作品ですね。



## 1. ひきのトラ



八王子市立武分方小学校（4年）

鈴木 幸和さん

選評  
せん びょう

初めて彫刻刀を使い、板を彫つて版をつくつたのだと思うのですが、彫る線の向きを考えたり、トラが今にも工サを取りそうな体の形をよく考えたりしてつくつたのが伝わってきて、力作だと思いました。黒色で刷つた後に、着色しているようですが、色合いもきれいで、作品にとても合っていてすてきです。



# いつもひなたぼっこを するねこの丸



瑞穂町立瑞穂第四小学校（5年）

とざわ  
斗澤  
あやか  
彩花さん

選  
せん  
評  
びょう

ネコが春のひだまりの中、気持ちよさそうに昼寝をしている様子への暖かいまなざしが伝わつてくる作品です。背景の線を彫る向きと、ネコの体の線を彫る向きをよく考えて彫つてるので、ネコの丸さがよく分かれます。彫つたらインクをつけて刷り、また彫つて刷る繰り返す、掘り込み版画ですが、色合いをよく考えて表現できくてすばらしいと思いました。



## 夕日に浮かぶ花



足立区立栗原小学校（6年）

佐藤  
真彩  
さん

### 選評

一版多色の版画で、いろいろな色を使って、いて夕日のグラデーションや下部の草の色を変えるところなどに工夫が見られます。花や緑にあふれた自然のすばらしさを表していると思うのですが、小さなドングリやキノコを配置しているところに、佐藤さんの優しさを感じました。花びらの線や葉の葉脈の線を残して膨っているところにも感嘆しました。



ねこ

絵画造形サークル（1年）

大越  
おおこし

萌衣さん  
めい



いるかのかぞく

成蹊小学校（1年）

斜森  
ななもり  
咲希さん  
さき





## メスに吸収される チヨウチンアンコウのオズ

光塩女子学院初等科（2年）

丸山 まるやま 漩 りん さん



## 走っているイノシシ



世田谷区立山野小学校（2年）

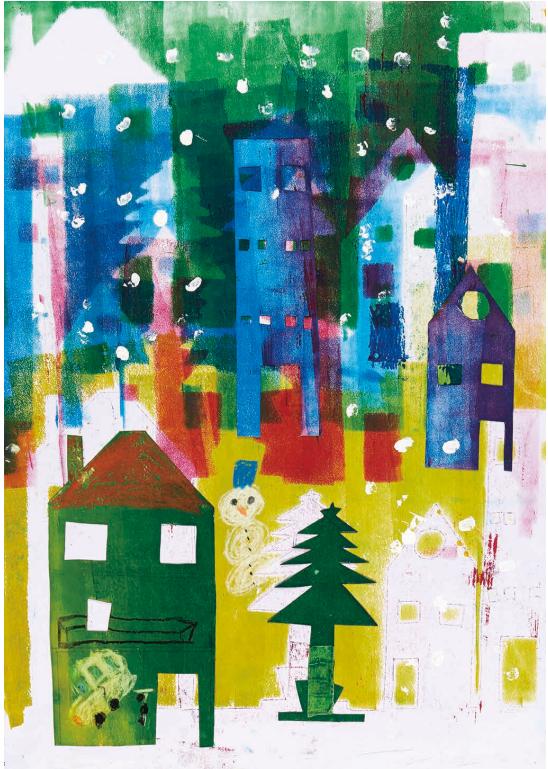
矢藤 やとう 淳大 こうだい さん



## 雪ふるカラフルな町

江戸川区立東小岩小学校（3年）

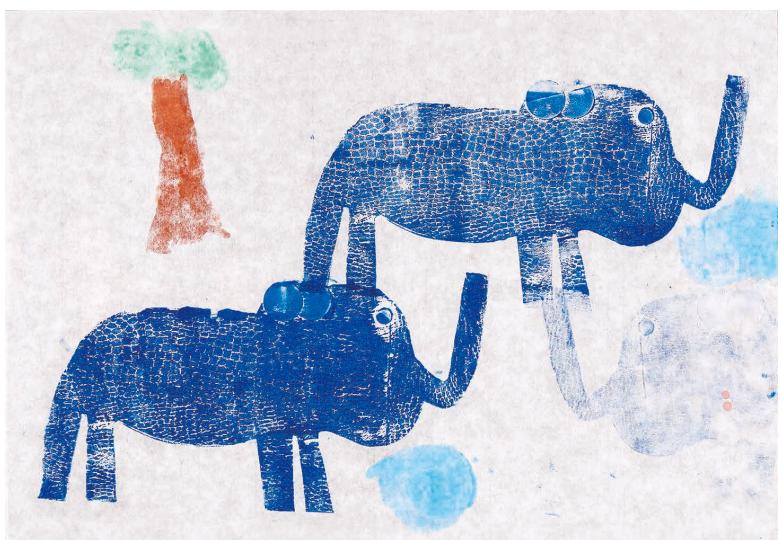
今村 瑞希さん  
いまむら  
みずき



## ぞうのふうふ

中央区立常盤小学校（3年）

山崎 恵伝さん  
やまざき  
えでん





荒川区立第五峠田小学校（4年）

野田 のだ 涼万 りょうま さん



これがぼくの笑顔



しんぴの海

中野区立啓明小学校（4年）

吉崎 よしざき

新那 にな さん



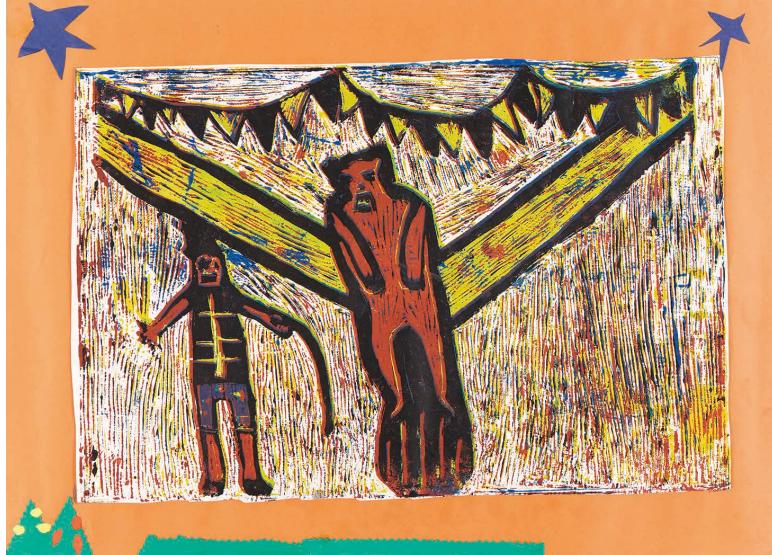


## くまサーカス

八王子市立武分方小学校 (5年)

仲嘉  
なか

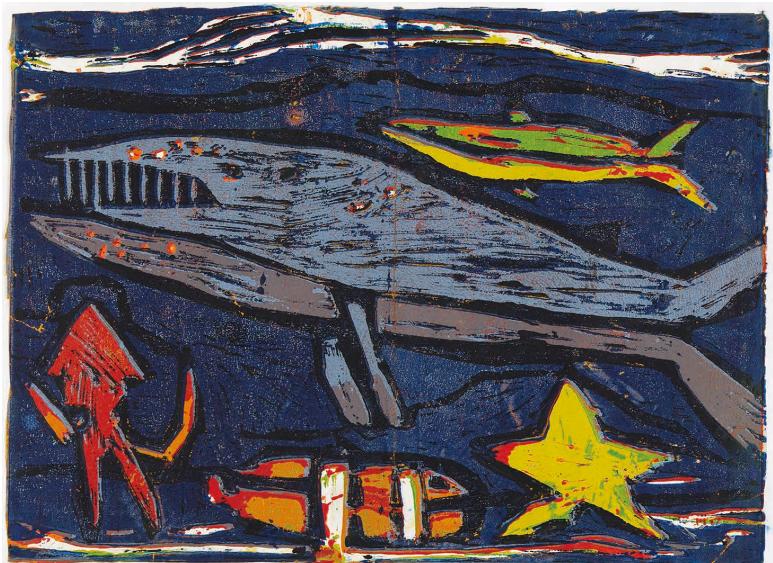
脩磨  
しゅうま



## クジランと ゆかいな仲間たち

瑞穂町立瑞穂第四小学校 (5年)

関口  
せきぐち  
嵐大  
あらたさん



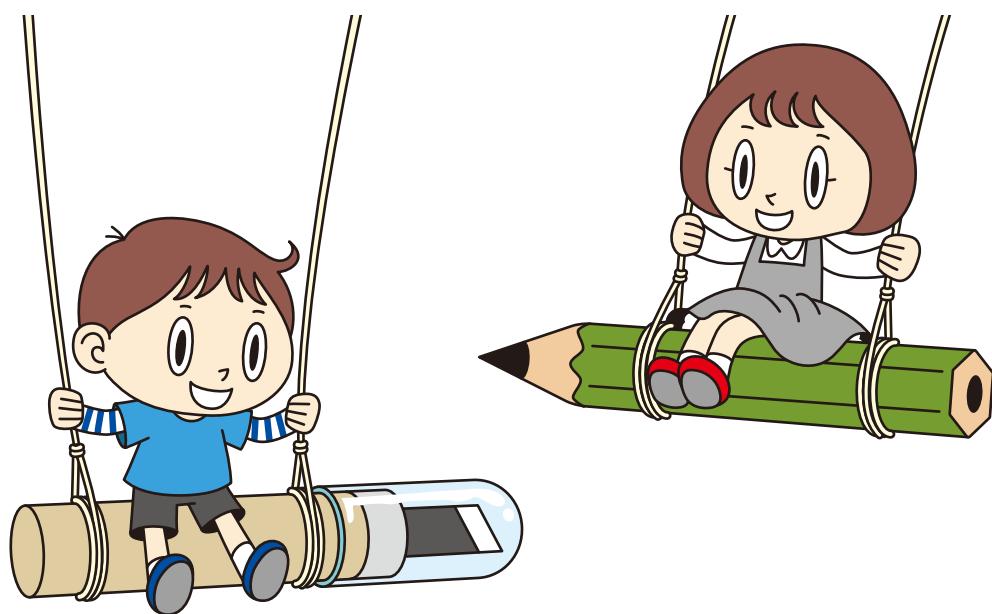


## 祭りの神様

港区立芝小学校 (6年)

篠田

侑里



# 版画の審査を終えて

審査員の先生（敬称略）

あさ  
麻  
さ  
ち  
こ  
齋藤  
佐知子  
貴子

新宿区立東戸山小学校主幹教諭（東京都図画工作研究会ゼミ担当）

荒川区立第二峡田小学校教諭（東京都図画工作研究会事務局庶務部長）

筆や指先を使って画用紙などに直接描くのと比べて、版画は手間のかかる表現方法です。まず、版画をつくり、それを刷つて写すといふ二つの段階があるため、ある程度の見通しをもつて制作を進めなければなりません。版づくりや刷りの過程が、さらにそれぞれいくつかの段階に分かれている複雑な工程の版画もあります。思いつくの製作はよく考えて、計画的にすすめる必要があるのです。

指導する先生も、版をつくつたり刷つたりするための用具や材料、写したり乾かしたりするためのスペースなど、用意しなければならないものがたくさんあります。それでも、版画ならではの美しさや版画制作の過程でなければ得られない学びは多く、図画工作の教科書では各学年に版画の題材があります。

科書では各学年に版画の題材があります。

一、二年生は初めての紙版画やリズミカルなスタンプ版画、口一粒で自由に走らせて生まれた作品から、子どもたちが楽しく取り組んだ様子が感じられました。

二、四年生は、最も応募点数が多く、紙だけでなく様々な凹凸のある材料を組み合わせた作品や、彫刻刀を初めて使った木版画が見られました。木版画も、インクで刷つた裏側から彩色するなど工夫した技法のものもあり、子どもたちが、次はどうなるかワクワクしながら取り組んだ様子が伺えました。

五、六年生は高学年らしく、多色版画、彫り込み版画、ステンシル版を重ねたものなど、さらに複雑な工程で仕上げる作品が見られました。どれも、出来上がりの効果を見通して少しづつ進めてゆく



審査中の齋藤貴子先生（左）、麻佐知子先生（右）

根気強さや、刷り上がったときの達成感が伝わってきました。審査では、版画らしいよさが表れていることを中心に、作者の思ひが強く感じられる作品を選ばせていただきました。

最後になりましたが、子どもたちの豊かな表現を引き出し、作品を応募してくださった指導者、保護者の皆さんに心より感謝申し上げます。

# 応募いただいた学校と作品数



学 校 名	作文	版画	合計
足立区立栗原小学校		8	8
足立区立千寿小学校	2		2
足立区立千寿常東小学校	4		4
足立区立東渕江小学校	1		1
足立区立平野小学校		178	178
荒川区立第五峡田小学校		81	81
江戸川区立小松川第二小学校	1		1
江戸川区立篠崎第三小学校	1		1
江戸川区立東小岩小学校		64	64
大田区立山王小学校	2		2
絵画造形サークル		16	16
葛飾区立こすげ小学校		20	20
北区立浮間小学校	4		4
国本小学校	2		2
光塩女子学院初等科	38	6	44
江東区立第二辰巳小学校	2		2
江東区立第六砂町小学校		3	3
小平市立小平第五小学校		14	14
品川区立浅間台小学校	1		1
聖徳学園小学校	1		1
白百合学園小学校	1		1
新宿区立市谷小学校	2		2
杉並区立永福小学校	1		1
杉並区立浜田山小学校	2		2
墨田区立中川小学校		41	41
墨田区立業平小学校	5		5
成蹊小学校	1	1	2
世田谷区立山野小学校		705	705
台東区立谷中小学校	1		1
中央区立明石小学校	1		1

学 校 名	作文	版画	合計
中央区立常盤小学校		50	50
筑波大学附属小学校	1		1
帝京大学小学校		17	17
東京学芸大学附属小金井小学校		1	1
東京学芸大学附属世田谷小学校	1	1	2
東京都立大塚ろう学校		31	31
東京都立大塚ろう学校 永福分教室小学部		23	23
東京都立大塚ろう学校 城東分教室小学部	10	18	28
東京都立光明学園		6	6
東京都立町田の丘学園		9	9
桐朋小学校	2		2
中野区立新井小学校		1	1
中野区立啓明小学校		1	1
練馬区下石神井小学校		2	2
練馬区立泉新小学校	31		31
八王子市立式分方小学校		32	32
羽村市立小作台小学校		1	1
東久留米市立第二小学校	3		3
福生市立福生第一小学校		20	20
文京区立根津小学校		19	19
宝仙学園小学校		2	2
町田市立南大谷小学校		23	23
瑞穂町立瑞穂第二小学校		1	1
瑞穂町立瑞穂第四小学校		66	66
港区立芝小学校		6	6
武蔵野市立第三小学校	1		1
武蔵野市立第四小学校	1		1
明星小学校	4		4
目黒星美学園小学校	8		8
立教女学院小学校	1		1
総 合 計	153	1,450	1,603

(50音順)



## 応募作品数・学校数

### 作文の部

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
応募作品数	13	20	13	17	71	19	<b>153</b>
応募学校数	10	13	9	9	10	8	<b>32</b>

### 版画の部

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
応募作品数	186	214	267	478	220	85	<b>1,450</b>
応募学校数	7	8	10	19	16	6	<b>32</b>

応募作品数合計………**1,603点**

応募学校数合計………**60校**

※作文の部、版画の部の両方、および複数の学年にご応募いただいた学校があるため、各部の応募学校数の合計とは異なります。

全労済東京推進本部



たすけあいの心から生まれた  
多彩な共済で安心を。

誰かが困ったときにたすけあい、誰でもあたりまえに暮らせる安心を。

全労済は、生命や損害はもちろん賠償の分野までトータルに保障をご用意しています。

これからも、たすけあいの心で

常に時代にあった保障のカタチを提供し、安心をお届けします。

全労済の住まいの共済

火災共済・自然災害共済

こくみん共済

●総合医療共済

●せいめい共済

マイカー共済

自賠責共済

団体生命共済

交通災害共済

新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として  
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり  
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い  
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用  
いただけます。

保障のことなら

**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

# 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

## 東京推進本部

(東京労働者共済生活協同組合)

〒 160-0023 新宿区西新宿7-20-8

TEL : 03-3360-6055